

2026年Ⅱ期小論文

以下の3問に答えなさい（所定の用紙内）。

1. 修士課程において計画している研究の概要とその意義・重要性を述べなさい。

私が修士課程で計画している研究は、イヌの熱中症を予防するための環境指標を明らかにすることである。卒業研究では、文献を調査し、熱中症の発生件数や発生時期、気温との関係を整理した。その結果、気温だけでなく湿度など複数の要因が関与する可能性が示された。

修士課程では、症例データと気象データを組み合わせて解析し、発症リスクが高まる環境条件を数値として示したい。特に、気温と湿度を組み合わせた指標と発症率の関係を検討し、予防の目安となる基準を提案する。本研究は、獣医療現場や飼い主への注意喚起に役立つ点で意義がある。

2. その研究を遂行するにあたり、研究倫理および実験動物福祉に関する3R（Replacement, Reduction, Refinement）の原則をどのように考慮するかについて説明しなさい。

本研究は主に既存の臨床データや気象データを用いるため、新たな動物実験は行わない計画である。これは3RのReplacementに沿った方法である。

追加のデータ収集が必要な場合でも、動物数は最小限に抑え（Reduction）、負担の少ない方法を選択する（Refinement）。研究実施前には倫理審査を受け、動物福祉に十分配慮する。

3. 上記の研究が、あなたの将来のキャリア形成にどのようにつながると考えるかを述べなさい。

本研究は、伴侶動物の予防医療に関わる将来に役立つと考えている。熱中症は予防が重要な疾患であり、科学的根拠に基づく指標を示すことは獣医師の重要な役割である。

本研究を通してデータ解析や疫学的思考を学び、将来は飼い主や地域社会に対して適切な予防情報を発信できる専門職になりたいと考えている。